

海軍道路の桜を次世代に繋げるために接ぎ木イベントを開催しました

海軍道路の桜は、年々老木化が進んでいる状況にあります。

このため、「新たな桜の名所づくりに向けた基本計画（令和4年10月策定）」をもとに桜をしっかりと再生していく必要があると考えています。

令和5年2月21日に横浜市立上瀬谷小学校にて、海軍道路の桜を次世代に繋げるために5年生の児童と接ぎ木のイベントを行いました！瀬谷区区連会長や瀬谷北部町内連合会長、PTAの方々、瀬谷区長も参加し、総勢100名を超える取組になりました。



接ぎ木は、枝を使い、他の木と繋ぎ合わせる技術で、上部の枝を「ほぎ」、土台となるものを「だいぎ」と呼びます。



今回は、樹木医の診断で大雨や強風で倒れる危険性があり、撤去予定の海軍道路の桜の穂木を使用しました。



「自分たちが育てた桜が、新しいまちに植えられたら嬉しい。」 参加した児童の感想



接ぎ木はなかなか難しく、成功率は約2割と低いようですが、成功すればGWには新芽が出るようです。今後は楽しみ☆

伐採木を活用したプレートを用意したところ、自分の名前だけでなく、好きな食べ物、キャラクター、言葉など、色々な使い方をしていました。子供の発想力に大人は皆感心！

接ぎ木した桜は当面の間、上瀬谷小学校で育ててくれます。



引き続き、横浜市では「新たな桜の名所づくりに向けた基本計画（令和4年10月策定）」に基づいて着実に事業を進めていきます。



「新たな桜の名所づくり
に向けた基本計画
（令和4年10月策定）」

